

Small Talk Q&A

Q:さまざまな活動をやり取りで進めるには、どんな Small Talk をすればよいですか？

A: (育成学級) 身近な言語材料を扱った親しみやすい絵本を使ってやり取りするようにしました。→QR①へ

A: (1, 2年) ゲームの中で使う表現を取り入れて、自然にルールが分かるようにしました。→QR③・⑤へ

A: (1年) じゃんけんの言い方に慣れ親しむために、おはじきのやり取りをやって見せるようにしました。

→QR④へ

Q:単元の言語材料を自然にインプットしながら、単元終わりの活動を子供が楽しみにできるような導入の工夫はありますか？

A: (5年) 指導者が教室をあちこち歩き、Where is the treasure?とつぶやきながら自分の宝物を探します。

In the desk! 机の中から見つけた宝物について Small Talk をしました。→QR⑫へ

Q:子供が言いたいことを自分の言葉で伝え合うようにするにはどうすればよいですか？

A: (6年) 相手のことをもっと知りたいと思う気持ちを高めることが、本当のやり取りにつながります。

そこで聞き手が話し手の発話を引き出し、会話を続ける Small Talk をしました。→QR⑭へ

Q:子供に使わせたい表現をどのようにインプットしたらよいですか？

A: (3年) 子供が使う表現を繰り返し聞かせ、好きなものについて考えながら相手とやり取りできるような Small Talk をしました。→QR⑦へ

A: (4年) 視聴教材の言語材料を使って、好きな曜日について子供とやり取りをして次の活動につながるような Small Talk をしました。→QR⑨へ

A: (5年) 子供が使う表現を繰り返し聞かせ、時間割について I have math. などと文で言えるような Small Talk をしました。→QR⑪へ

A: (6年) 日本文化について、5W1Hのモデルを盛り込み、質問のバリエーションを増やせるような Small Talk をしました。→QR⑬へ

Q:「相手意識を持つ」活動にするためには、どんな工夫がありますか？

A: (育成学級) 「相手に似合う服をコーディネートしたい」という思いを持って、お店屋さんとやり取りができるような Small Talk をしました。→QR②へ

A: (2年) サラダを作ってあげたい相手のことを思って、野菜を盛り付けていく Small Talk をしました。

→QR⑥へ

A: (3年) 色や形を集める活動にとどまらず、「相手に喜んでもらう」という目的意識を持って、Small Talk をしました。→QR⑧へ

A: (4年) 子供が「ピザ紹介をして相手の反応を見たい」と思えるような Small Talk をしました。→QR⑩へ